

令和5年 9月 29日(金)

中央学校給食センター

【献立名】 麦ごはん 牛乳 高野豆腐のおとし揚げ  
キャベツの即席漬け 団子汁 お月見ゼリー



【ひとロメモ】

## 十五夜について知ろう

(食文化)

今日は中秋の名月、または十五夜と言って、1年中で月が一番美しく見える日です。この時期の空は澄んでいて月がきれいに見えます。よく晴れた夜に、月をながめてみるのもいいですね。

月は昔から農業に深く関わってきました。人々は、月の満ち欠けを見て、いつ、どんな農作業をしなくてはならないのかを目安にしていました。月のおかげで食べものが育ち、収穫できることから感謝の気持ちとこれからの豊作を願って、里いもやだんご、枝豆など、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月をながめました。また、里いもをお供えすることから「いも名月」と呼ぶこともあります。

今日は、お月見にちなんで丸い白玉団子を使った団子汁とお月見ゼリーが出ています。収穫に感謝して味わっていただきましょう。

令和5年 9月 29日(金) 第二学校給食センター

(献立名) 麦ごはん 牛乳 高野豆腐のおとし揚げ  
キャベツの即席漬け 月菜汁 お月見ゼリー



【ひとロメモ】

## 十五夜について知ろう

(食文化)

今日9月29日は十五夜です。月見は、十五夜と十三夜に、秋の収穫物を供えて月をながめる行事です。

月見のお供えものにはススキや団子、さといもなどがあり、それぞれに意味があります。月見のススキは、「依代」(神がよりつくもの)といわれています。団子は、米を粉にして作った団子で、収穫への感謝の意味があります。そのほかさといもは、十五夜の時期にさといもがとれる時期でもあり、その恵みに感謝をする意味があります。今日の給食では、月菜汁に白玉だんごを入れています。

今晚、美しい月が見られるといいですね。

令和5年 9月 29日(金) 飯山学校給食センター

【献立名】 麦ごはん 牛乳  
高野豆腐の落としあげ キャベツの即席漬け  
団子汁 お月見ゼリー

《今日の丸亀産の食材》  
小松菜、玉ねぎ、  
にんにく



【ひと口メモ】

## 十五夜について知ろう

(食文化)

今日のめあては「十五夜について知ろう」です。

昔の人が詠んだ歌に「月月に、月見る月は多けれど、月見る月は、この月の月」という歌があります。この歌は「毎月のように月を鑑賞できる月があるけれど、名月を見る月といえばまさに今月のこの月だね」という意味だそうです。

「この月の月」というのは、旧暦の8月15日の月のことで、今年は今日、9月29日の夜に見える月です。中秋の名月、または十五夜とって一年中で月がいちばん美しく見える日です。満月を鑑賞するこの行事は、中国で始まり平安時代に日本に伝わってきました。この日には、昔から里芋、だんごなど、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月を眺めました。特に里芋をお供えすることから「いも名月」と呼ぶこともあります。

今日の給食では白玉団子入りの月菜汁が登場していますね。今夜は、家で家族と一緒に月見してみましよう。